

ビス羽子板金物・II 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

- 六角ボルト(M12)を併用して材を引寄せます。

特長

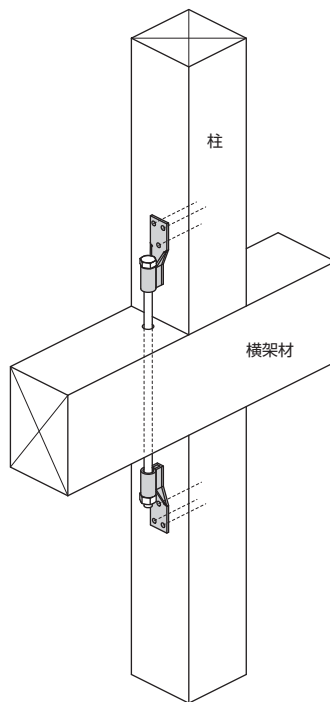
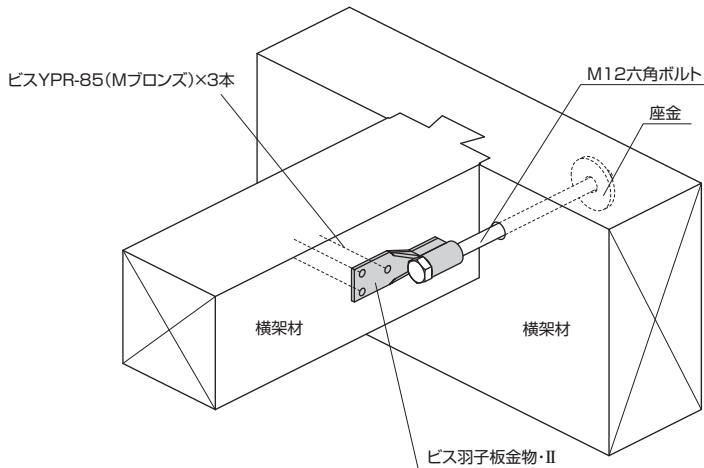
- ビス施工のためかんざしボルトが不要となり、プレカット加工の必要がありません。
- 本体2個と六角ボルトで横架材相互の締付けができます。
- 一般の羽子板ボルトでは長さが足りない場合、六角ボルト(M12)の寸法で調節できます。
- レンコン金物・IIのセット品もご用意しています。

付属品

- 専用ビス YPR-85(Mブロンズ)×3本

施工方法

- ① 本体を付属のビスで接合します。
- ② 使用用途に応じた長さの六角ボルト(M12)(別売品)を本体2個または1個に通しナットで締付けます。片引きの場合は座金を介してナットで締付けます。



注意事項

- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!!ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- 六角ボルト(M12)と座金は別売品です。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の向きに取り付けてください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。



建設省告示第1460号第2号
[へ]対応
ハウスプラス確認検査(株)性能試験

ビス羽子板金物・II

短期基準接合引張耐力(Pot) : 10.3kN

BXカネシン株式会社

本社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸 4-19-12 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077

K20210209A